

先人たちの創造した文化を
継承発展させるために
あなたの力を貸してください。

収集事業のあらまし

首里城基金の文化遺産収集事業は
このように役立てられています。

**目標額
20億円**



沖縄の新たな文化の創造へ

基金では事業内容の充実を図るため、寄付を募っております。
皆様の暖かい御協力、御支援をいただけますようお願いいたします。

首里城基金のしくみ



■ 受付 ■

首里城公園管理センター
〒903-0815 那覇市首里金城町1丁目2番地 TEL.098-886-2020



■ 振込される場合 ■

沖縄銀行 首里支店 (普通)	1318639
琉球銀行 首里支店 (普通)	6-495
沖縄海邦銀行 首里支店 (普通)	0-482-155
□ 座名 首里城基金	



首里城基金へのご協力のお願い

未来へ残そう沖縄の心——

首里城は沖縄の歴史と文化の象徴として、わが国 の地方文化の域を越えた国民的に貴重な文化遺産で ありますが、先の大戦において、多くの文化遺産が 灰燼に帰したり、国内外に散逸してしまいました。

約450年にわたる琉球王国の王府としての首里城 の復元は、長年にわたる県民の悲願でありました。

ご案内のとおり、本土復帰20周年の記念行事と して「首里城正殿」が、国、県及び関係者等のご 尽 力により、平成4年11月に47年ぶりに復元され、 首里城公園として一部開園されました。

これを機に、わたくしたち一人一人が沖縄の伝統 文化を再認識し、新しい沖縄文化を創造し、発展さ せることが最も肝要かと存じます。

そのためには、国内外に散逸してしまった首里城 関係の文化遺産の収集、保存をするなど、国民的 文化財産を蓄積する運動を国民上げて展開する必 要があります。このようなことから、その資金源確保を 図るべく、県、市町村、各種団体、また多くの方々 からご協力を得て、「首里城基金」が設置されました。

これから新たな文化を創造する上においても、 偉大な先人たちが残してくれた貴重な遺産を収集 し、広く紹介することは、大きな意義があります。

何卒、この基金造成の趣旨をご賢察いただき、「首 里城基金」の充実に皆様方の絶大なるご協力、ご 支 援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



復元、収集された文化遺産



#扁額 中山世土

この扁額は、康熙22年(1683年)、尚貞王を冊封する際に、康熙帝(こうきてい)から下賜され、冊封正使・汪楫(おうしう)によってたらされたものである。首里城正殿内の往時の姿を再現するため扁額の復元が重要とされ、平成7年11月1日に実現した。



#染織 きぬきいろじうめかえでさくらゆきわてまりもんようびんがたあわせいしょう + 絹黄色地梅楓桜雪輪手鞠紋様紅型給衣裳

上質の絹を黄色の地色に染め、梅・桜・楓を鮮やかに描いた紅型衣裳。このような型紙で製作された紅型は類例がない。絹布の質、作品の完成度から、まさしく王家の人が使用した衣裳だったであろうと思われる。



#書跡 尚泰王書

尚泰は第二尚氏王統第19代、琉球王国最後の国王。この書は防空壕の中から発見されたもので「大如居士」という法名の落款があり、紙・墨の時代も合致することから唯一本人の墨跡資料であり価値が高い資料である。

